



2015年のネパール大震災、早々に復興活動に動いたシアールワールドのサントス理事に浦和レッズの柏木選手をはじめとする選手たちからご支援、ご協力をいただいたことがきっかけとなり4年の歳月を経て、今回の企画が実現しました！

Activity Report

「浦和レッズハートフルクラブ」招致&サポート活動

September 2019 in Nepal



「浦和レッズハートフルサッカーinアジア」 招致&サポート活動

2019年9月26日 バクタプール郡ティミ
公立シュリボデ高等学校(6~10年生46名参加)
FCレアーレネパール(67名参加)



4年越しのアプローチで

「浦和レッズハートフルサッカーinアジア」が ついにネパールに!

レアーレワールドと浦和レッドダイヤモンズ(以下、浦和レッズ)との出会いは、4年前、ネパール大震災の起こった2015年にまで遡ります。地震後早々に、レアーレワールドのサントス理事が復興支援を開始した時、柏木選手をはじめとする浦和レッズの選手たちからご支援、ご協力をいただいたのです。

そのご縁がきっかけとなり、レアーレワールドは、ネパールの子どもたちのため、浦和レッズにネパールを訪問してほしいと働きかけてきました。

浦和レッズには、サッカーを通して子どもたちの心を育てる草の根活動を行うチーム「ハートフルクラブ」があり、「浦和レッズハートフルサッカーinアジア」と題し、アジア各国で活動されていたからです。そこには、サッカーチームの運営を通して、子どもたちが人として成長できる場を作っているレアーレワールドの想いと重なる部分が多くありました。

その後、4年にわたるアプローチを経て、この度、「浦和レッズハートフルサッカーinアジア」が遂に、ネパールで開催されました。

いいサッカー選手は 『一生懸命・楽しむ・思いやり』を 大切にする

今回、ハートフルクラブには、バクタプール郡ティミにある公立シュリボデ高等学校(小中高一貫)と、私たちレアーレワールドが運営するFCレアーレネパールの2カ所でサッカークリニックを行っていただきました。

心を育てる目的で活動しているハートフルクラブのサッカークリニックは、実技の前に、必ずキャプテンである落合コーチの講話の時間があります。

落合コーチは、元日本代表選手、元日本代表監督であり、数々

の賞を受賞したサッカー界のレジェンドです。戦後の貧しい日本を経験し、苦難の多い暮らしの中からトップ選手に上りつめた落合コーチ自身の経験を交えた話には、子どもたちは身を乗り出して聞き入っていました。

落合コーチの話で、毎回必ず語られることがあります。それは、「いいサッカー選手になりたかったら、『一生懸命・楽しむ・思いやり』を大切にしてください」ということです。

そう語る落合コーチの言葉を受け、実技では若手コーチたちが子どもたちの心をつかみ、サッカーを楽しみながら、『一生懸命・楽しむ・思いやり』を実践できるようリードし、子どもたちは夢中になってボールを追いかけていました。

サッカーを通して心を育む それが本当の草の根活動

公立シュリボデ高等学校でも、FCレアーレでも、子どもたちは大変盛り上がり、心からサッカークリニックを楽しんでいましたが、刺激を受けたのは子どもたちだけではなく。

学校の先生や、FCレアーレのコーチ、レアーレワールド現地スタッフにとっても、貴重な学びの場となりました。

噂を聞いて遠方から駆けつけた、地元で草の根活動をしているコーチたちが、ネパールの草の根活動と、ハートフルクラブの草の根活動の違いを目の当たりにし、「ネパールの草の根活動は、技術しか教えていない、人を育てる、それが本当に大切だったんだ」と感慨深げに話していたのが印象的でした。

また、今回、FCレアーレの子どもたちに向けてのサッカークリニックの会場となったグラウンドは、クラウドファンディングによる日本の皆様のご支援で作ることができたものです。

日本の皆様をサポートで使えるようになったグラウンドで、日本からお越し下さったハートフルクラブに活動をしていただけたことに、レアーレワールド関係者一同、胸が熱くなり、ご支援いただいた方々に改めて感謝申し上げます。

ネパール代表選手を ネパールの子どものためのロールモデルに

レアールワールドの行っている活動のひとつに、ヒーロープロジェクトがあります。ネパールの子どものためのロールモデルとなる若者を育てることで、子どもたちの未来を変え、ひいてはネパール全体を変えていこうというプロジェクトです。

現在ネパールの代表選手7名がそのプロジェクトに賛同し、参加しています。普段は子どもたちにしか講義をしない落合コーチですが、「ヒーロープロジェクトに参加しているネパール代表選手に、日本人の価値観やプロとしての意識について話してほしい」という三好代表理事の願いに応え、今回、特別に講義をしていただきました。

環境を変えたければ 自分たちが変わらなければならない

講義に参加したのはインドのプロチームで活動中の1名を除いた6名の選手です。

ネパールにおけるプロ選手の環境はとても悪く、選手自身の思考や視野もとても狭いものになっています。しかし、落合コーチの経験、理論、哲学を聞き、ハートフルクラブの若手コーチたちと話をしたことで、彼らの意識は、確実に変わりました。

「環境、周りを変えたければ、まず自分が変わらなければならない」という日本人コーチの言葉は、彼らに強く刺さったようでした。

ネパールは貧しい国だから、ネパールサッカー協会がいい加減だから、いいコーチがないから、いいグラウンドがないから等々。自分たちができないことを、周りのせい、環境のせいにしてきた彼らが、今、変わろうとしています。

自分たちの未来のために、そして、ネパールのサッカー界の未来のために、力を合わせて行動しよう!という意識が出てきはじめてののです。

現在のネパールサッカー協会に不満があるなら、自分たちが変えていけばいい、いや、自分たちが変えていくんだ!

そんな思いを、今、彼らは初めて持ち始めています。環境を変えたければ、自分たちの意識を変えること、そのことの大切さを、私たちが改めて学ぶ機会となりました。

ネパールサッカー協会訪問で サッカー界の現実を感じてもらおう

今回、サッカークリニックの前日に、ハートフルクラブとネパールサッカー協会(ANFA)との会合をセッティングさせていただきました。

そこには2つの目的がありました。

ひとつは、ネパールのサッカー界のトップにいるサッカー協会の理事の方々に、ハートフルクラブの活動を知ってもらい、彼らが推進している草の根活動のヒントや学びを得てもらうこと。

もうひとつは、ハートフルクラブの方々に、ネパールのサッカー界の現状を知っていただくことで、サッカークリニックにおいて、そして今後の途上国での活動において、参考になる何かを得てもらうことでした。

残念ながらANFA側の対応は、支援してくれるならしてほしいという受け身な態度で、ハートフルクラブの話聞いたからといってすぐには変わるようには思えませんでした。

しかし、準備に関わったネパール人やその場に居合わせたサッカー関係者たちには、ハートフルクラブの方のお話は、大きな刺激となり、今後自分たちが、ネパールサッカー協会を変えなければという意識をはっきりと持つてもらえました。

大人や青年たちが意識を変え、サッカー協会を変える動きをすることで、子どもたちの意識も変わっていき、ネパール全体が変わる原動力になっていきます。

私たちレアールワールドにとっても、今回のツアーは学びが多く、より良い社会のため、子どもたちの未来のため、さらに前に進んでいきたいと、決意を新たにす機会となりました。

今回のネパールツアーのスケジュール

9月25日	夕方	ANFA(ネパールサッカー協会)との会合
9月26日	午前	バクタプル郡の公立学校にてサッカークリニック(講話と実技)
	午後	生徒のお宅訪問、ローカル食堂での昼食、被災地視察
	夕方	FCLレアールネパールにおいてサッカークリニック(講話と実技)
	夜	ネパール代表選手を対象とした講話と交流会



ヒーロープロジェクト collaborated with 浦和レッズハートフルクラブ

2019年9月25日 ネパールサッカー協会との会合

2019年9月26日 ネパール代表選手との講座と交流会

ネパールの文化や 庶民の暮らしを体験



カトマンズ空港ではマリーゴールドの花輪でネパール式にお出迎え



額につける赤い粉は歓迎と祝福の印



公立学校の生徒の家を見学させてもらう



ネパール族の伝統的な楽団で歓迎



ネパール式楽隊を先頭に会場の学校まで歩く



2015年ネパール大震災の被災地を視察



昼食は地元のローカル食堂で伝統食



公立学校の生徒の家族と一緒に記念撮影

価値観が変わる、行動が変わる それが、真の国際交流

レアーワールドでは、常にフェアである(=もらうだけではない、関わる人全てに意味のある)活動を心がけています。せっかくはるばるネパールまでいらしたのですから、ハートフルクラブの方々には、ぜひ、ネパールの人々の暮らしや文化にふれてほしいと思いました。

どの国にも、良い部分、悪い部分がありますが、その両方を含むありのままの姿を見てもらうことこそ、本当の国際交流であると、私たちは考えています。

人は、自分と異なるものを見ることで、自分の良さに気づいたり、自分の課題が見えたりするものです。できるだけ素顔のネパールを体験してもらうため、今回、現地スタッフに計画から実行までを任せました。

サッカークリニックの合間に 人々の暮らし見学

今回、2泊3日というタイトなスケジュールでしたが、イベントや会合の合間に様々な体験をしていただきました。

ネパールの伝統的な歓迎を受け、レンガと土でできた昔ながらの家を訪問し、家の中を見学させてもらいました。2015年の大震災の被害が修復されないままの家がある通りを歩き、地元の人々が通う食堂でネパール料理を食べ、道端の茶屋でお茶を飲む等々。普通の観光旅行では体験できない、ネパールの日常の暮らしや町の空気を感じてもらいました。

これらの経験が、ハートフルクラブの今後の活動において、そして参加した方の今後の人生において、プラスになったのであれば、幸いに思います。

メディア報道

今回の活動はネパール国内の様々なメディアにて報道されました。

GoalNepal.com サッカー情報専門オンラインニュース
2019年9月26日「NPO Reale World Brings Japanese Giant Urawa Reds To Nepal To Support Nepalese Football」
<https://goalnepal.com/news/detail/7504>

2019年9月30日「Urawa Reds Heartful Club Completes Their Project In Nepal」
<https://goalnepal.com/news/detail/7552>

Khulapatra ネパールオンラインニュース(ネパール語)
2019年10月3日「बोर्ड का युवा र बढियारशीलाई खेल्कू द सामाग्री (पोडेの青少年と学生たちにスポーツプログラム)」
<https://khulapatra.com/12074>

Nayanepalnews ネパールオンラインニュース(ネパール語)
2019年10月9日「बढियारशीलाई खेल्कू द सामाग्री चरित्रण (学生たちにスポーツ教材の支援)」
<https://nayanepalnews.com/2019/10/36899/>

Bhadgaun Television ネパールの地方局
2019年9月27日全国放送
<https://www.youtube.com/watch?v=U-wh2rJQyNTY&t=7s>

認定NPO法人REALE WORLDの活動の様子は、ホームページやSNSでご覧いただけます。活動に共感いただけましたら、ご支援・ご協力をよろしく申し上げます。

認定特定非営利活動法人REALE WORLD

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317 番地 5030

Tel 0557-51-5227

Mail nporealeworld@gmail.com Web <https://realeworld.com>

認定NPO法人
REALE WORLD



ホームページ



Facebook



Instagram



Twitter